

板柳町総合教育会議議事録

1. 会議日時 令和5年12月18日(月) 午後3時

2. 会議場所 板柳町福祉センター2階 農業委員会会議室

3. 出席者

(構成員)

町長 葛西 健人

板柳町教育委員会

教育長 高橋 幸治

委員 坂本 正幸

委員 田澤 傳弘

委員 久米田 貞子

(事務局)

総務課長 大井 俊介

学務課長 田中 禎一

学務課長補佐 小野 隆政

行政係長 鳴海 紘介

4. 傍聴者 陸奥新報記者

5. 協議・調整事項

① 統合小学校について

- ・統合小学校として板柳南小学校を選定する
- ・工事期間中の児童の良好な学習環境の保持及び安全確保
- ・その他必要な事項

6. 会議内容

別紙のとおり

別紙

○大井総務課長

皆様本日はお忙しい中、また、お寒い中、お集まりいただきましてありがとうございます。

ただいまから、板柳町総合教育会議を開会いたします。

開会に先立ちまして町長からあいさつをお願いいたします。

○葛西町長

教育委員会の皆様には大変お忙しい中、板柳町総合教育会議にご出席いただき本当にありがとうございます。

また、日頃より当町の教育行政の推進にご尽力をいただきまして、心から感謝申し上げます。

9月に開催いたしました総合教育会議におきましては、「既存施設を利活用した小学校統合」につきまして、ご理解・ご同意を賜り、改めて感謝申し上げます。

本日の総合教育会議で、「統合小学校について」正式に協議・調整を諮りたいと思いますので、本日はどうかよろしくをお願いいたします。

○大井総務課長

ありがとうございました。それでは、協議・調整事項に入りますが、要綱第3条により、町長が議長を務めることになっておりますので、よろしくをお願いいたします。

○葛西町長

それでは、しばらくの間、議長を務めさせていただきます。よろしく申し上げます。

最初に、私から教育委員会の皆様へご報告をさせていただきます。

教育委員会の皆様が11月20日の会議でまとめられた、統合小学校の選定案等について、学務課を通じて拝見させていただきました。施設の状況、通学面、地理的条件など細かく調査・検討いただいたことが感じられました。また、校舎の改修工事期間中の児童の学習環境、更には安全確保についても真摯に向き合わなければならないと強く感じております。

町民の「小学校の統合について早く進めて欲しい」という要望に応えるため、11月30日に行われました議員全員協議会において、統合小学校の選定等について

町議会議員の皆様には説明させていただきました。一部指摘事項等はございましたが、議員の皆様からは概ね理解を得ることができたものと認識しております。

小学校の統合の準備を進めるにあたり、予算措置も踏まえ、来年度から本格的に統合小学校の改修事業に取り組んでいくために、総合教育会議の場を設け、教育委員会の皆様と『統合小学校について』協議・調整を諮りたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

本日の案件は3点ございます。まず、一つ目の「統合小学校として板柳南小学校を選定する」このことについて学務課より説明をお願いいたします。

○田中学務課長

まず、お手元の資料は、前回の9月29日開催の総合教育会議において協議・調整が諮られたものでございます。

そして、今回の会議での協議に係る部分に下線を引いてございます。「1 統合小学校についての（2）板柳北小学校または板柳南小学校を改修して統合小学校の校舎とする」という部分と、一番下「3 校舎等の改修についての工事期間中であっても児童の良好な学習環境の保持及び安全確保等にも十分配慮された校舎等改修計画の策定を行う」という部分です。

こちらの部分について、11月20日の教育委員会の会議において、意見をまとめております。また、教育委員会の皆さんは会議の前に北小と南小の校舎を見学し、学校の状況を確認した上で、話し合いを行っております。それらが本日の資料になります。

それでは、本日の会議資料をご覧ください。

まず、今回の表題は、「統合小学校について」となります。読み上げます。

統合小学校について。板柳町教育委員会は、令和5年11月20日開催の会議において、統合小学校の選定案を取りまとめるとともに、校舎改修工事の規模等から、工事期間中も児童が安心・安全に充実した学校生活を送るための対応について協議いたしました。そして町民の『小学校の統合について早期に進めて欲しい』という意見に応えるよう、令和9年4月の開校を目指してスピード感をもって計画を進めて参ります。

続いて、選定した考えについて読み上げます。

1 統合小学校として板柳南小学校を選定する

まず、校舎の様子からは、板柳北小学校（以下、北小）、板柳南小学校（以下、南小）、双方優劣つけがたい状況であるが、児童等の出入りの確認、不審者等防犯対策も踏まえた場合、1階に職員室がある南小が優位と考える。2階のプレールームは、図書室と一体化した広いオープンスペースとして整備することで、学校の魅

力的なスペースとなりうる。また、下水道が整備済みで近くに中継ポンプがあることから停電時でも下水道が利用可能となっており、避難所になった場合でも適応性が高い。

スクールバスの運行については、校舎前でUターンに切り返しが必要な北小とは違い、広々とした空間でUターンが可能となるため、数台のバスの児童の乗降もスムーズに行われるものと予想する。

徒歩通学においても、学校周囲が田園で人目の少ない北小より、住宅地や高齢者施設等が周囲にある南小の方が、住民からの見守りが得やすく、安全面では優位と考える。また近くに新しい交番が設置されることから、地域の安全意識が高まり、安全面に関する協力が得やすいと思われる。

南小近くの旧板柳高等学校は、スポーツ施設を含む複合施設として利活用される予定であることから、児童地域クラブにおけるスポーツ・文化活動の場として利用しやすく、町の社会体育や文化芸術活動との連携が図られることに期待が高まり、児童の校外での活動の活性化に繋がるものとする。

そして既存の小学校に統合するという点で最も重要と考えるのは、南小が、板柳町の4つの小学校の中で、学校に近い距離に住んでいる児童が最も多いことである。児童が多いということは、同様に南小の近くには多くの町民が住んでいるということであり、今後も継続して、域内に住む児童が多いことが期待される。以上のことから、これからの板柳町の将来を担う、統合小学校に通う児童が、多くの町民に温かく見守られ学び育んでいける教育環境として南小が最も適切と考える。

○葛西町長

ただいま、統合小学校として板柳南小学校を選定する旨の説明でしたが、教育委員の皆さまから付け加えのご意見等がございましたらお願いします。

○坂本委員

私達、南小と北小一緒に視察してきました。私自身も北小に5年ほど勤務していた経験もありまして、委員の皆さんとお話しして、意見交換したときに、やっぱり南小の方が建物の造りや前庭の広さが良いと感じました。北小は意外と段差があるので、広いようで大型のバスとかも遠足とかで使うときも非常に使いにくいことも経験上ありました。そういう風に実際に見た者としても、南小の方が適しているのではないかなど、結論にいたりました。

○葛西町長

ありがとうございました。皆さんありませんか。

○田澤委員

坂本委員の意見が全てです。一緒に北小、南小見たんですけれど、やっぱり校舎の中に入ってのイメージ、そういうのは南小の方が優位性あるのかなと思いました。ただ、339のバイパスに出る口が、交通量が多いので、いろんな方法を考えていただきたいと思います。以上です。

○葛西町長

ありがとうございました。久米田委員ございますか。

○久米田委員

私も一緒に見学させていただいたときに、北と南を見たときに、南の方が見晴らしがよかったですよね。明るって印象です。子ども達が勉強していく中で、明るさと開放感っていいのかなと思って、それを考えて私も南に賛成しました。

○葛西町長

ありがとうございます。

○高橋教育長

私も教育委員のみなさんと同じ考えであるんですけれど、説明してもらった学務課からの説明、教育委員のみなさんのご意見を考えると統合小学校として南小学校を選定するのが適切だという思いを強くしました。これから長い期間、板柳町の学びの象徴となる統合小学校は児童にとって良好な学習環境や、生活環境を整備し、児童や町民の方々におらほの小学校、そういう思いをもってもらいたいと思います。そういう誇れる小学校となるように、既存の南小学校の校舎を有効に利活用して整備することがとても大事だなと考えておりますので、その辺についてなんとかよろしくお願いいたします。

○葛西町長

ありがとうございました。できる限り十分なスペースを確保しながら、令和9年4月開校という方向で計画を組んでいます。とにかく非常にタイトなスケジュールとなりますが、町民の皆さん、保護者の皆さんからの早く統合してほしいという要望に応えるために、6年度実施設計、7年～8年工事という2年間で進めるということで検討させていただいています。

新たに、統合小学校を既存施設でやる。これは、青森県ではないそうです。だか

ら、板柳方式ということで、一生懸命我々も、子ども達に環境のいい場所を提供するために、がんばっていきますので、何卒一つお願いしたいと思います。

それでは、統合小学校を板柳南小学校に選定することに決定いたします。よろしいでしょうか。

それでは、2点目の工事期間中の児童の良好な学習環境の保持及び安全確保について学務課より説明をお願いします。

○田中学務課長

資料の2ページ目をご覧ください。

この件は、前回9月29日の総合教育会議で、既存施設を利活用した小学校統合について、教育委員会が同意する際に、町長にお願いしていた内容でもございます。読み上げます。

2 工事期間中の児童の良好な学習環境の保持及び安全確保

統合小学校に通う小学生たちが快適に学べる教育環境になるよう、建築後40年経過する校舎を今後30年間使用することを目指し、長寿命化改良事業を進め、校舎の全面的な改修工事を実施する。そのため、工事の規模等を考慮すると、工事中の校舎では、十分な学習環境が保持できないことや、児童の健康面の不安や事故発生等が非常に懸念される。

工事中も児童が安心・安全に充実した学校生活を送ることを最重要と考えた場合、工事期間は南小の児童と北小の児童が、北小校舎で一緒に学ぶことが最も適切である。児童の安全と安心して学べることを第一に考え、児童の環境の変化について十分な対策等に努め、保護者の負担軽減にも配慮しながら、児童の学習活動に支障がないよう対応していく。

○葛西町長

ただいま、工事期間は南小の児童と北小の児童が、北小校舎で一緒に学ぶことが最も適切である旨の説明がありました。私も8月に行いました住民説明会で町民の方から、児童の安全と安心を考えて欲しいとの意見を伺っておりました。教育委員の皆さまから付け加えのご意見等がございましたらお願いします。

○坂本委員

今回の統合で一番大事なのは、子どもたちの安心、安全だと思います。やっぱり古い校舎であればアスベストの問題とか、かなり大がかりな工事になります。それから、児童が校舎にいる状態での工事であればアスベストの問題がからむ。その間はいったん北小の方に入ってもらおう。そして北小の子ども達と南小の子ども達が一

緒に学ぶ。また、いろんな悩みがあると思うんですが、いろんな意味で教育委員会として支援して行って、子ども達が安心して工事期間中北小にいてもらえるようにしたい。親御さんも気にしていることなので、その辺の配慮は我々教育委員としては、これから十分気をつけて支援していきたいと思っております。

○葛西町長

ありがとうございました。他に、田澤は教育委員の方から。

○田澤委員

児童の安全対策から、安心な環境を提供して、工事を進めていただきたいと思います。以上です。

○久米田委員

1番肝心なのは父兄の反応だと思うんですね。父兄が今悩んでいることとか随時、アンケートではないですけども、意見があればそれに対応していくというのは教育委員会の筋かなと思います。

○高橋教育長

説明、それから教育委員の話にもあったように、かなり長い期間になりますので、子ども達が安心安全に、しっかりと学んで学校生活を充実させれる、そういう環境を準備することが大事だなと教育委員会の定例会の中でも確認させていただきました。統合までの可能性としてはいろいろ考えられるんですけども、子ども達がしっかりと学べる教育環境を維持することを第一に考えると、北小の校舎で現在の南小学校の子ども達と一緒に学ぶことが最も適切なのかな、安全確保しやすいのかなと考えます。その場合、保護者の方々が心配されることがでてくると思います。その点について、スクールバスのことであつたり、さまざま配慮しなければならないことについては、教育委員会として保護者の方々、子ども達の不安に対応していきたいと考えております。

○葛西町長

ありがとうございました。8月当初、教育委員会の皆さんとお話ししたときは、私も勉強不足で、坂本先生が言った、児童が校舎にいる状態での工事は無理だろうということを知って、なるほどなと思いました。とにかく児童の安心安全を第一に考えて、進めていきたいと思っています。また、皆さん新聞等でご存じのことと思いますが、今の12月議会で各小学校4校に、6月までにエアコンを設置する予算

も可決されてございます。1月に入札して業者が決まって、暑くなる前にエアコンの設置工事を終えるように作業を進めてまいります。子どもたちの安全安心を第一に考えていきますので、これからもよろしくお願いいたします。

それでは、工事期間は南小の児童と北小の児童が、北小校舎で一緒に学ぶことにより、工事期間中の児童の良好な学習環境と安全の確保をすることに決定いたします。

それでは、3点目その他必要な事項についてを学務課より説明をお願いいたします。

○田中学務課長

校舎選定、工事期間中の対応が決まったということで、いよいよ町民を始め、保護者の皆さんに説明をし、改修工事を進めるとともに、統合小学校の開校に向けて準備を進めていく必要があります。読み上げます。

3 その他必要な事項

統合小学校の改修基本構想・基本計画を策定し、改修工事を進めていく。

統合小学校の概要や開校に向けての計画等について住民説明会や保護者説明会を実施する。

小学校の統合を円滑に行うために必要な事項について、協議・調整するための小学校統合準備委員会を設置する。

以上です。

○葛西町長

ただいま、改修基本構想・基本計画を策定し、工事を進めていくこと、住民説明会や保護者説明会を開催すること、小学校統合準備委員会を設置することについて、学務課から説明がありましたが、教育委員の皆さまから、ご意見等がございましたらお願いします。

○坂本委員

前にもお話が出たと思いますが、統合に当たって審議会の答申がありました。あの中でだいぶ練られた基本構想というのがあったと思いますので、あれは今でもいいものだと思っておりましたので、答申に示されたものを中核にして新しい統合小学校の計画作りを進めていくことが大事なのかなと思っておりました。それに向けて、このような形で改修していくということを、保護者の方達にとって経験のないことなので、丁寧な説明を教育委員会として、内容を理解していただいて、なるほど、こういうふうやっていくんだなと、理解を得る機会が必要だなと考えていま

すので、委員会としても十分配慮していきたいと思っております。以上です。

○田澤委員

答申書の内容を反映して、作業を進めていっていただきたいと思っております。

○久米田委員

私も坂本先生がおっしゃったように、保護者はやっぱりどういう学校作りなのか興味があって、逆に心配している状況でもあるので、その辺は必要だと思っております。

○高橋教育長

今説明された、改修基本構想・基本計画は今後行われる長寿命化対策の根幹を成すもの、その指針ということになりますので、丁寧に、十分に検討していただきたいと思います。その上で、それをもとにして、住民説明会、保護者説明会で丁寧な説明を行って、理解を得て、教育委員会としても統合を進めていきたいと思っておりますので、その方向で進めて参りたいと思っております。

また、開校に向けては実務的な検討作業、膨大な作業が必要になってきます。それを担うのが小学校統合準備委員会ということになるんですけども、板柳町の将来を担う子ども達が学ぶ統合小学校の運営が円滑に進められるように、校名等も含めて、教育理念、学校運営方法など、さまざまな内容を協議していただいて、これは私の思いなんですけれども、統合小学校が子ども達はもちろん、町民の皆様からも愛されて、誇りに思える、そういう学校になるように開校に向けた準備をしていただきたい。そういう私の思いです。

○葛西町長

ありがとうございました。私も議会でも答弁させていただいたのですが、出していたいただいた答申書を使用して統合を進めていくという考えは変わっておりません。地域住民、保護者、議会に隠すことなく、全てオープンして説明をして、ご理解をいただきながら進めて参りますので、教育委員会の皆様のお力をお借りしたいと思っておりますので何卒よろしく願いいたします。

それでは、その他必要な事項として改修基本構想・基本計画の策定、住民説明会や保護者説明会の開催、小学校統合準備委員会の設置を行い、小学校の統合を進めることに決定いたします。

以上で、本日の3案件について、教育委員会の皆様と協議・調整が諮られました。

ありがとうございました。

そして冒頭にありますように、町としても、町民の小学校の統合について早期に進めて欲しいという意見に応えるよう、令和9年4月の開校を目指してスピード感をもって計画を進めていけるようサポートして参ります。教育委員会の皆様には引き続きよろしく願いいたします。

この他、皆様から特別発言がなければ、本日の板柳町総合教育会議はこれで終了いたしますがよろしいでしょうか。

それでは会議の進行を事務局にお返しします。

○大井総務課長

はい、ありがとうございました。以上で総合教育会議を終了いたします。本日はありがとうございました。